

【資 料】

平成26年度 林業研究・技術開発推進

九州ブロック会議育種分科会

原 田 美 千 子¹

平成26年9月3日、林業研究・技術開発推進九州ブロック会議育種分科会が、九州森林管理局（熊本県熊本市）において開催され、林野庁、九州森林管理局、森林総合研究所、九州育種基本区内の各県、大学、民間業者から49名が出席した（写真-1）。

会議の概要は次のとおりである。

林野庁からの情報提供

平成27年度予算の概算要求を行っている「苗木安定供給推進事業」と、「マツノザイセンチュウ抵抗性品種開発技術高度化事業」等について説明があった。

また、各県に対して、県の実情にあわせた「特定間伐等及び特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針」の策定、及び「花粉発生源対策の推進」の予算活用について要請があった。

林木育種センターからの説明

育種部から、特定母樹の普及に関して、原種配布の手続についての説明、低コスト林業に役立つ試験・研究結果について順次公表していきたいとの報告があった。

遺伝資源部から、発足後約30年を迎え、新たな「林木ジーンバンク事業収集・保存、特性評価戦略」を検討している、戦略の実施に当たっては、各機関の協力をお願いしたいとの要請があった。

平成26年度九州育種場及び各機関の林木育種関連事業・研究の概要について

九州育種場から、森林総合研究所の平成26年度計画に沿って、新品種の開発、林木遺伝資源の収集・保存、原種の配布、育種技術の講習指導等を進めることについて説明を行った。

各県からは、採種園・採穂園の管理・改良事業、種子・穂木採取事業のほか、コンテナ苗関係の研究、第二世代

スギ・ヒノキの研究等の報告があった。

また、九州森林管理局からは、エリートツリーを用いたコンテナ苗の研究等についての報告があった。

林木育種の推進及び特定母樹の普及について

九州育種場から、育種全般の推進に関する育種種苗の生産・普及状況、特定母樹・エリートツリー・少花粉品種等についての県・民間への配布実績及び今後の予定、また、各県から育種場への要望が増加している、採種園・採穂園の造成・管理等についての講習指導について説明を行った。

続いて、特定母樹の普及に向けて、関係する法律のポイント、特定母樹とエリートツリーの違い、特定母樹の特性や交配家系の情報について説明を行った。

また、特定母樹は母樹本数が少なく、台木育成から大量の穂木採取ができるまでに時間がかかることを説明したうえで、特定母樹指定以前に、少花粉品種あるいはエリートツリーとして各県に配布されている原種の活用を要請した。



写真-1 九州ブロック会議育種分科会

¹ はらだ みちこ 森林総合研究所林木育種センター九州育種場

提案要望事項について

九州各県からの要望事項について、九州育種場から回答を行った。要望事項の概要は次のとおりである。

- ① ヒノキ実生コンテナ苗に今後取り組むに当たって、スギとの違いとして留意することは何か。(長崎県)
- ② 特定母樹を普及させるため、森林所有者や増殖事業者が求める情報(さし木発根率、年次成長量、材の通直性・材の強度、材の色等)を提供してほしい(熊本県)。
- ③ 県営の採穂園を改良していくため、エリートツリーの原種配布本数を更に増やしてほしい(大分県)。
- ④ 今後、特定母樹別にどの程度の数量が配布できるか教えてほしい。

また、県としてスギ精英樹を特定母樹として申請したいと考えているが、データが不足しているため、九州育種場と共同申請できないか検討してほしい(鹿児島県)。

現地検討会

翌日、9月4日、九州育種場内(熊本県合志市)に場所を移して、現地検討会が開催され、九州育種場から、① スギさし木苗の育成手法、② 個体・系統管理システム、③ エリートツリー等の育成状況に関する紹介と場内の案内を行った。

最初に紹介した「スギさし木苗の育成手法」は、水挿しによる発根管理を行うことで、今後、生産増大が予想されるコンテナ苗について、育苗床に植え付ける穂木の歩留まり向上を期待するもので、試験経過や今後の取り組みについての説明を行った(写真-2)。

次の「個体・系統管理システム」は、母樹から採取した穂や種子を誤りなく増殖・配布する事を目的とした、比較的安価な機材によりラベルを現地発行できるシステムで、システムの概要や実際の操作について説明を行った(写真-3)。

最後の「エリートツリー等の育成状況」は、エリートツリーの選抜手続きや選抜本数について概要を説明した後で、良好な初期成長について実感していただくため、場内で実際に植えられている1年生から6年生の特定母樹やエリートツリー等の育成状況を見て頂いた(写真-4)。



写真-2 スギさし木苗の育成方法の紹介



写真-3 個体・系統管理システムの紹介



写真-4 エリートツリー等の育成状況を紹介します